



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.12.5 No. 3318



あわから2年 東中野事故を 忘れない!

12.5

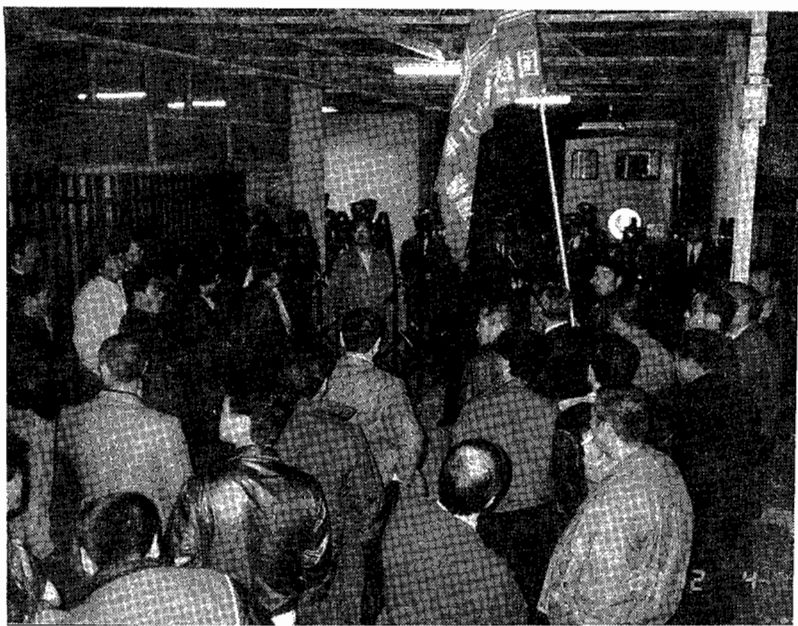
八八年十二月五日発生した東中野事故から二年がたった。
平野運転士と乗客一名の命を奪い、多くの重軽傷者をだしたこの事故は、まさに国鉄分割・民営化を象徴するものであった。際限のない合理化とスピードアップ、一分の遅れでも問題視する職場管理

東中野事故をはじめとして連続した重大事故の発生は、そのほとんどが国鉄時代には到底考えられなかったものばかりである。それはなによりも安全優先から営利優先へ

体制のなかで、おこるべくしておきた事故ともいえる。
われわれは二度と東中野事故を許すな！を合言葉に、この間反合・運輸保安闘争を闘いぬいてきた。決意もあらたに、運輸保安確立、業務移管阻止・三月ダイ改阻止へ、全力で闘いたとう。

安全を破壊するJR

と、JRになってからは増収第一に転換したからに外ならない。そして増収のためには、収入にむすびつかない安全施策を徹底して排除してきた。まず真っ先に削られたの



昨年12月5日運輸保安かけ、JR後はじめての乗務員による24時間ストライキにたちあがる。写真は千葉運転区前での前夜総決起集会。

反△口・運輸保安確立！
業務移管攻撃粉砕、
二月ダイ改阻止へ
ストライキで闘おう
第二四回定期委員会
十二月十五日(土)
十三時から
労働者福祉センターにて

が安全保安要員であった。すでに駅のホームには駅員の姿を見かけることも少なくなつたようにJR

反△口・運輸保安確立へ 全力で闘おう

昨年十二月五日動労千葉はこうしたJRの安全無視を許さず、反合・運輸保安確立をかけた。JR移行後はじめての乗務員による二十四時間ストライキに突入し、断固貫徹した。このわれわれの闘いは、ストライキという戦術とも相まって、社会的に大きな反響をまきおこすとともに、JR体制に依拠した当局とJR総連革マルに大打撃を与えることに成功した。動労千葉が安全問題でストライキを闘い、それが大きな支持を獲得する、こうした事態をまきかえすために行われたのが、かの「国際鉄道安全会議」であった。だがいくら革マル松崎が「国際会議」など大風呂敷をひるげ

たところで、JR当局と一体となって共働したなかに鮮明なように安全問題を真剣に考えるようなものではなかった。合理化に率先協力し、安全を当局と一体となって破壊しながら、「安全」をもてあそぶ、これこそがJR総連の姿なのだ。こんなペテンを許すことはできない。

安全は闘いのなかでしか守ることはできない。このことをキモに命じ、いまこそ反合・運輸保安確立に全力でたちあがる。

※お詫びと訂正※
『日刊動労千葉』前号(十二月四日付)の発行号数が間違っていました。正しくは第三三一七号です。